



東洋医学公益講座

第97回

- ✓ 講師：羅 予澤
- ✓ 提供：未病予防協会
- ✓ 協賛：(株)ベンチャーバンク

先人の智慧、後世の階段

病理学_外因_六淫の風邪

臨床の症状と五運六気

節気の変わり目で同じ症状が
発症する現象がよくある



『黄帝内经』の教えは
かなり参考になる

『黄帝内经』運氣七篇

天元紀	(てんげんき)	大論	第六十六
五運行	(ごうんこう)	大論	第六十七
六微旨	(ろくびし)	大論	第六十八
氣交變	(きこうへん)	大論	第六十九
五常政	(ごじょうせい)	大論	第七十
六元正紀	(ろくげんしょうき)	大論	第七十一
至真要	(ししんよう)	大論	第七十四

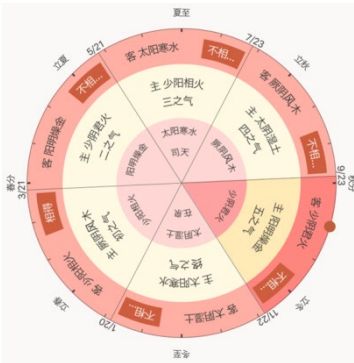


五運六気に関する諸説

運氣七篇を否定する勢力もいるが、

五運六気の説を提唱する名医が多い

疫病などの治療予防に
かなり役立っている



異常気象と五運六気

桜の開花が随分早い or 遅い

春なのに風が少ない

6月に雪や雹が降る

台風が非常に多い

冷夏、暖冬・・・



六淫の概念

風・熱・暑・湿・燥・寒

天の六気の過不足

丁度良い = 正気
過不足 = 邪気（淫）

体の不調の引き金になる



風邪が体に溜まると...



風は動くもの



震え(震顫)、めまい、かゆみ(掻痒)
皮膚や筋肉がピクピクチクチク(抽搦)
痛みがあちこち移動する(遊走性)

外からの風邪・内からの風邪

外から受ける風邪

例：車内の冷房、冷たい風



体内の風邪

例：体内の温度差による



六淫 = 体調不良の引き金

